



芳野友子
連合会長

地震災害により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

また発災直後から、被災地に駆けつけ、あるいはそれぞれの地域で、昼夜を問わず復旧に携わっている皆さまに心から感謝いたします。その一つひとつの取り組みが、被災地の皆さんの生活を支え、希望を支えることにつながっていることと思います。

労働運動の原点である「助け合い・支え合い」の精神を持って、連合に集うすべての構成組織・地方連合会が団結し、被災地の日も早い復旧・復興に向けて、組合員が一丸となって最大限の取り組みを展開していきましょう。

政府・政党などへの政策要請

1月12日に内閣府、16日に立憲民主党、国民民主党に対して、能登半島地震への緊急対策について要請を行いました。

要請内容：被災者の安否確認やライフライン復旧などの「緊急に対応すべき事項」「女性や子どもの安全確保と防犯体制の整備」「政府予算の速やかな執行」「当面の緊急雇用・労働対策」「ボランティア受け入れ体制の整備」の5分野（26項目）。



立憲民主党への政策要請



国民民主党への政策要請

「石川県災害ボランティア」への派遣

◆連合石川のボランティア活動

特に被害の大きかった石川県能登半島では、救命活動やライフライン復旧を優先する観点から不要不急の移動を抑制。ボランティアについても、断水や道路の寸断、頻繁な余震などの状況を考慮し、「石川県災害ボランティア」に登録し決定通知を受領した者に限定して活動が許可されてきました。

連合石川では、この県災害ボランティアに2月5日より毎日ボランティアを派遣するとともに、関係議員等と連携し、避難者への物資支援などの活動を展開しています。



がれきの搬出を行う
連合石川のボランティア



3月24日より 連合ボランティア派遣スタート！

地震発災から2ヵ月が過ぎ、ようやく被災市町でのボランティア受け入れ体制や活動環境整備が進んでいます。連合本部では、連合石川の支援要請を受けて、構成組織の協力のもと「石川県災害ボランティア」に3月24日より参加することを決定。また、自己完結型の「連合被災地救援ボランティア」を構築し、連合の強みを活かした被災地支援に取り組むこととしています。

被災地では、倒壊家屋の撤去、住宅内の片づけなど、これからもボランティアの力が必要とされています。息の長い「支え合い・助け合い」の輪の拡大が求められています！

報告

全力で被災地支援を！ 「令和6年能登半島地震」への連合の取り組み

本年1月1日16時10分頃、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の大地震と大津波が発生し、北陸地方各地では多数の家屋倒壊、土砂崩れ、インフラの寸断、大規模な火災など甚大な被害がもたらされました。

連合は、ただちに芳野会長を本部長とする「令和6年能登半島地震対策本部」を設置。救援カンパ、構成組織・地方連合会と連携した情報収集・共有、被災者救援に関する政策要請、政府・自治体・関係団体・NPO・NGOなどとの連携・調整などの取り組みを展開しています。

今も、多くの方が避難を余儀なくされています。被災地の連合の仲間の皆さんは自ら被災しながらも、必死でインフラの復旧、被災者支援にあたっています。

被災地支援の強化に向けて、さらなる協力を呼びかけます。

火災で全焼した輪島市朝市横丁周辺 写真提供／朝日新聞社



珠洲市の倒壊した家屋 写真提供／朝日新聞社

緊急救援カンパの取り組み

第1次緊急支援として「連合・愛のカンパ」より、連合石川に対して自然災害等被災救援金500万円を拠出しました。さらに構成組織による職場での救援カンパ、連合本部・地方連合会による街頭緊急救援カンパなどに取り組んできました。

3月7日時点で、総額1億8543万1538円となりました。

被災県への義援金として寄付させていただきます。

ご協力ありがとうございました。



緊急救援カンパ
JR御茶ノ水駅前・JR秋葉原駅前での街頭救援カンパ活動（1月24日、26日）



「令和6年能登半島地震」特設サイト

連合HPに「令和6年能登半島地震」に関する特設サイトを開設し、救援カンパの情報や連合災害関連ニュース、災害関連ワークルールQ & Aなどを掲載中。

●「令和6年能登半島地震」特設ページ

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kizuna/noto2024/>



ゆにふあんマップで各地の能登半島地震被災地支援の取り組みをまとめています。

